

大阪府第二枚方警察署(仮称) 新設整備事業

大阪府警察本部

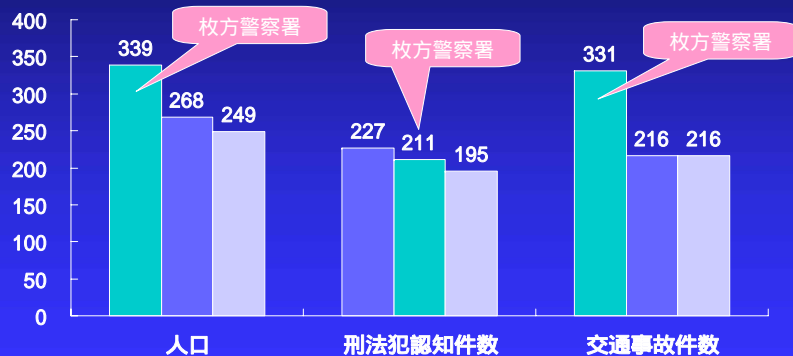
枚方警察署の現状

- 管轄区域 枚方市及び交野市
- 管内人口 約48万人(府下64警察署中第1位)
- 管内面積 約90km²(同第6位)
- 刑法犯認知件数 約8,500件(同第2位)
- 交通事故件数 約3,500件(同第1位)
- 110番受理件数 約29,000件(同第1位)

注: 平成17年中の概数を表す

枚方警察署の現状

平成17年中の警察事象府下上位3警察署との比較



注: 府下警察署の平均を100とした場合の指数で比較

管轄区域の分割の考え方

- 警察体制の強化
 - ・署員の増員
 - ・パトカー等機動力の増強
 - ・交番の新設
 - ・本部所属部隊の投入等
- 警察署の管轄区域と位置
 - ・管轄区域
 - ・警察の任務の能率性
 - ・署の位置
 - ・住民の利便性

- 管轄区域等の検討
 - ・警察署への交通機関等の住民の利便性の向上
 - ・主要道路へのアクセスなどの機動力の確保
 - ・管轄区域の位置関係

管轄区域を決定し、警察署の候補地を選定

警察体制強化の状況

■ 警察署体制の強化

- ・ 署員の増員 約150人の増員
- ・ 機動力の増強 4台(パトカー)の増強
- ・ 交番の新設 4交番の新設
- ・ 本部所属部隊の投入による支援

注：警察署建設当時(昭和55年)との比較

5

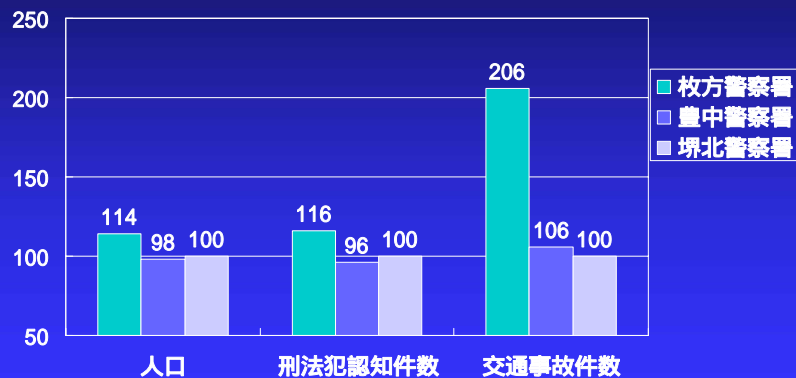
優先度

- 警察事象の増加
- 本署から事件事故等現場へ向かう場合の移動に時間を要し、効率性が低下
- 署員の増員等警察体制の強化による庁舎の狭隘化

6

優先度

過去の警察署新設における分割元警察署との比較



注：堺北警察署を100とした場合の指数で比較

7

代替案の検討

- 署員の増員等による体制の強化
- パトカー等警察装備の増強による体制の強化
- 本署の増築及び交番の新設による体制の強化



警察署を利用する府民、事件事故等現場へ向かう警察官にとっては、移動時間の短縮につながらず、府民の利便性、警察活動の効率性の向上を図ることができない。

8

管轄区域の分割

警察任務を能率的に遂行できる管轄区域の設定



- ・治安実態に即応できる組織体制とするために、警察活動基盤の整備を図る。
- ・南北に発達した交通網に沿って東西に分割し、警察機動力の確保を図る。
- ・府民に判りやすい管轄境界線とする。
- ・府民の利便性の向上を図る。

9

警察署の位置

- 府民の利便性の向上
- 警察の機動力の確保



- ・管轄区域のほぼ中央に位置
- ・JR学研都市線津田駅から約1km
- ・府道交野久御山線沿い
- ・第二京阪道路(整備中)へのアクセスが容易

10

管轄区域と警察署の位置



11

事業内容

- 予定地 交野市倉治一丁目
- 敷地面積 約3,500㎡(予定)
- 床面積 約5,500~6,000㎡(想定)
- 構造 鉄筋コンクリート造5階建(想定)
- 総事業費 約25~30億円(想定)
- 完成予定 平成24年度

12